

バスは行く!

第19回～原鶴温泉の旅～

2008年4月23日 参加者 22名
スタッフ12名
報告：井田 章博



今回の旅に参加されたみなさん

はじめまして！ 4月より霧ヶ丘つだ病院の事務に入職しました井田と申します。

この度、入職早々ながら、毎年恒例の『在宅酸素友の会ひまわり～バスは行く!』にスタッフとして参加させていただくことになり、在宅酸素患者のみなさんと貴重な時間を過ごすことができました。

『バスは行く!』も今回で第19回目を迎えるということで、患者さん同士も顔なじみだったり、どんな所へ行くのかとても楽しみにしていたりと、このバスハイクが普段あまり外出する機会がない在宅酸素の患者さんにとっては大切なイベントになっているということを実感しました。

今回の目的地は『原鶴温泉ホテルパーレンス小野屋』。私は撮影担当で同行することになり事前の打ち合わせから意気込んでいましたが、当日の天気はあいにくの雨。しかし、道中のバス内ではカラオケや体操、さらにビンゴ大会ではみなさん景品をゲットするなどして盛り上がりました！ そうしているうちに到着したのが朝倉郡にある『三連水車の里』。三連水車は1789年に設置され、更新されながら二百数十年にわたり回り続け、周囲35ヘクタールの水田を潤しているそうです。残念ながら水車は6～10月の間しか運転していないようで、バスから歩く距離もあったため今回は私の撮影のみとなりました。その間、みなさんは三連水車の隣にある創業明治42年の藤井養蜂場で、約30種類以上の国産・世界のハチミツを堪能してお土産も買われていました。



朝倉郡を出発し間もなくして目的地の『パーレンス小野屋』に到着！ 館内はバリアフリーで、綺麗で落ち着いた印象を受けました。みなさん、お疲れのところでしたが記念に集合写真をパシャリ！ その後、大広間に移動すると見事な昼御膳が用意されていました。毎回バスハイクをサポートいただいている呼吸ケアプロバイダー、大同商会の大坪社長による乾杯の挨拶で始まり、みなさん会話も弾み美味しそうに昼食を召し上がられていました。昼食後はカラオケを歌ったり、パーレンス小野屋名物の『豊風呂』に入ったり、お土産を買ったりとそれぞれが楽しいひとときを過ごしていました。私は皆さんについて回って一生懸命ビデオに収めました！（ご希望の方にはDVDで差し上げますので事務にお申し付けを）

帰りのバス内ではさすがにみなさん疲れたようで、静かに帰路に着きました。

